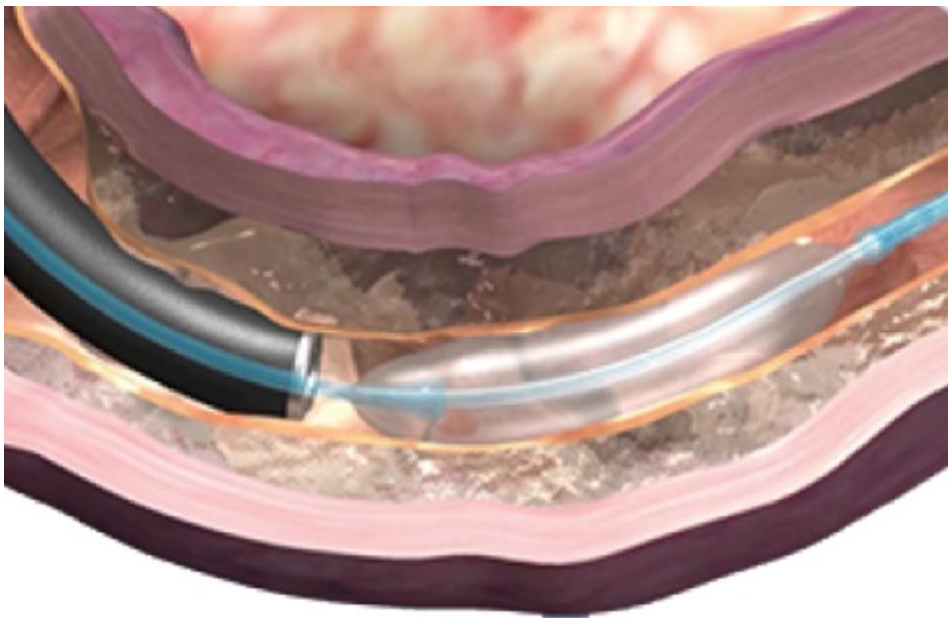


新たな糖尿病治療法・・・

十二指腸粘膜焼灼

十二指腸粘膜を内視鏡で焼灼し、食物を感知しにくいようにするユニークな糖尿病治療法が *Diabetes Care* 誌に掲載されました。



まず安全性について着目すると、40 例中 3 例が焼灼後十二指腸狭窄による上腹部痛や嘔吐を訴えました。また、8 例が腹痛を訴えましたが、鎮痛薬は不要でした。



有効性ですが、HbA1c値は、6カ月後の時点で $1.2 \pm 0.3\%$ 改善しておりました。体重は、3カ月後 $3.9 \pm 0.5\text{kg}$ 、6カ月後 $2.5 \pm 0.1\text{kg}$ の有意な減少。さらに、3カ月後に食前から食後に至るまで全ての時間帯において血糖値の改善がみられました。

